

	ご意見	意見を踏まえた考え方の整理
1	冒頭に、リスクコミュニケーションとリスクアナリシスとの関係を明記することが必要	参考として、国の食品安全委員会の資料を追加
2	P.2の「リスク分析」と「リスク評価」の言葉の使い方が逆になっているので、整理するべき。	内閣府食品安全委員会が公表している用語集の内容と整合するよう整理
3	P.3の「ゼロリスクを達成するべきとの理想論もあり」という表現は、ゼロリスクが理想であるとの誤解を生じるので訂正するべき	ゼロリスクが理想論であるとの誤解を生じない表現に訂正
4	P. 3、1行目の「経済的負担」をもう少し分かりやすい表現にするべき	「費用対効果」に修正
5	P.5の消費者の役割の中にだけ「信頼関係の醸成」を記述するのではなく、すべての関係者にとって重要な事項であるという位置づけにするべき。	「第2 関係者の役割と課題」の冒頭に、相互の信頼関係の醸成について言及
6	P.7に「国の取組」に対して「都の取組の現状」とある。統一するべき。	「都の取組」に修正
7	P.8のリスクコミュニケーションのパートナーという言葉の使い方が不自然	「リスクコミュニケーションに参加する関係者」に修正
8	P.8の「情報の意義について提供する」という表現は、日本語の文章として不自然	関係者の疑問を解決する「情報の意義」を付加する旨をすでに言及
9	P.10の「食育」について、もう少し具体的なものを示すべき	「食品の安全について一人ひとりが考えられるような情報提供など」という標記を追加
10	P.12にある交流の場は、曜日や時間だけでなく、回数にも配慮するべき	その旨を追加
11	P.12にあるポスターセッションは、行政だけでなく、事業者や消費者もパネルが出せる状況にすることが必要	ポスターセッションは、「様々な機会を捉えて実施」としており、都が主催する場だけではなく、事業者や消費者が主催する機会も含まれる
12	P.12の施策へ関係者の意見反映については、「パブリックコメントや説明会」だけでなく、「意見を聴く会」や消費生活条例の「申出制度」を例示として示すべき	関係者の意見・要望の把握の部において例示を追加